患者向医薬品ガイド
2024年10月更新

リバスチグミンテープ4.5mg「アメル」
リバスチグミンテープ9mg「アメル」
リバスチグミンテープ13.5mg「アメル」
リバスチグミンテープ18mg「アメル」

【この薬は？】

販売名	リバスチグミンテープ4.5mg「アメル」Rivastigmine Tapes 4.5mg「AMEL」	リバスチグミンテープ9mg「アメル」Rivastigmine Tapes 9mg「AMEL」	リバスチグミンテープ13.5mg「アメル」Rivastigmine Tapes 13.5mg「AMEL」	リバスチグミンテープ18mg「アメル」Rivastigmine Tapes 18mg「AMEL」
一般名	リバスチグミン Rivastigmine			
含有量（1枚中）	リバスチグミン 4.5mg	リバスチグミン 9mg	リバスチグミン 13.5mg	リバスチグミン 18mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ 「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、アルツハイマー型認知症治療剤の中の、コリンエステラーゼ阻害剤に属する薬です。
・この薬は、脳内のアセチルコリン量を増加させ、認知症症状の進行を抑制します。
・次の目的で処方されます。
軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制
・この薬は、体調がよくなったと判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

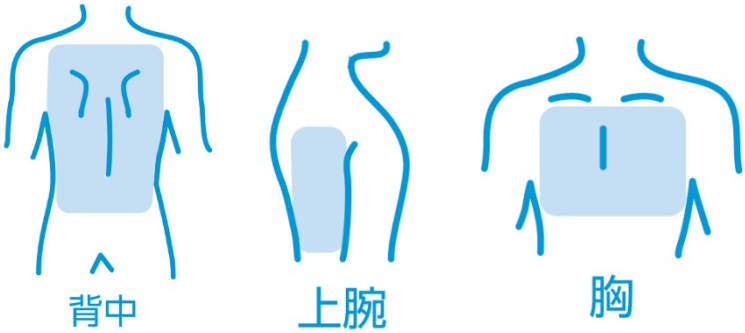
【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。
・過去にリバスチグミンテープ「アメル」に含まれる成分やカルバメート系誘導体で過敏症のあった人
○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・洞不全症候群または伝導障害等の心臓病のある人
・心筋梗塞、弁膜症、心筋症等の心臓病や電解質異常（低カリウム血症等）等のある人。ＱＴ延長のある人、または過去に経験したことがある人、血縁にＱＴ延長のある人がいる人
・胃潰瘍や十二指腸潰瘍のある人、または過去に経験したことがある人
・尿路閉塞のある人やなりやすい人
・てんかん等のけいれん性疾患のある人、または過去に経験したことがある人
・気管支喘息や閉塞性肺疾患のある人、または過去に経験したことがある人
・錐体外路障害（パーキンソン病、パーキンソン症候群等）のある人
・低体重の人
・肝臓に重い障害のある人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人
○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数
・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
・通常、成人には１日１回 4.5mg から開始し、原則として４週毎に 4.5mg ずつ増量し、維持量として１日１回 18mg を使用します。また、あなたの状態によって１日１回 9mg から開始し、４週後に 18mg に増量する場合もあります。
・悪心、嘔吐（おうと）などの症状があらわれた場合には、減量することや、症状がおさまるまで休薬することがあります。

・この薬は背中、上腕、胸のいずれか１カ所の正常で健康な皮膚に貼り、毎日ほぼ同じ時間に（24 時間毎に）貼り替えます。使用中のテープを貼ったまま新しいテープを貼らないでください。

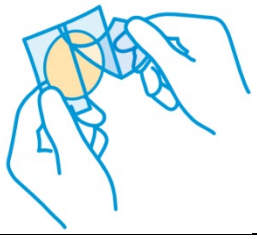


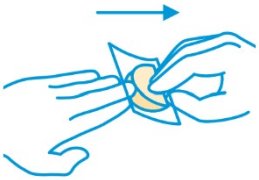
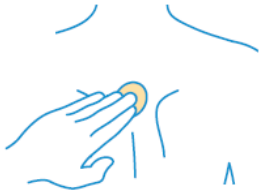
●どのように使用するか？

〔貼る時の注意点〕

・同じ場所に続けて貼らないでください。
・傷や皮膚病のある場所は避けてください。
・一度に貼れる枚数は１枚のみです。一度に２枚以上を貼らないでください。
・貼り替える際には、まず前回貼ったテープをはがしてから、新しいテープを貼ってください。
・テープは毎日、新しいものに貼り替えてください。
・この薬は切って使うことはできません。
・入浴後に貼る場合には、十分に水分を拭き取って乾いてから貼ってください。

［薬の貼り方］

① 包装袋から取り出す	・内部のテープを傷つけないように、手またはハサミで包装袋を切り、テープを取り出してください。
② 日付を記入する	・テープ表面に、貼る日にちをペン・ボールペンなどで記入してください。(衣服への色移りにご注意ください。)
③ 透明フィルムを半分はがす 	・テープには透明フィルムがついています。粘着面に触れないように、透明フィルムの半分をはがしてください。

④ テープを貼る 	・粘着面を背中、上腕、胸のいずれかにあて、テープを貼ります。次に、残りの透明フィルムをはがしながら貼ってください。
⑤ テープを押さえる 	・テープがしっかりとくっつくまで手のひらで押さえてください。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いたときは、そのときに貼ってください。翌日からはいつもと同じ時間に貼り替えてください。貼り替えていないことに気付いた場合でも、一度に２回分を貼らないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

嘔吐、悪心（吐き気）、下痢、腹痛、めまい、振戦（手足のふるえ、首のふるえ）、頭痛、失神（短時間、意識を失い倒れる）、傾眠（刺激がないと眠ってしまう）、錯乱状態（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、幻覚（実際には存在しないものを存在するかのように感じる）、多汗症、徐脈（めまい、立ちくらみ、息切れ、脈がとぶ、脈が遅くなる、気を失う）、高血圧、けん怠感および縮瞳（しゅくどう）（ものの形が見えにくい）などの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を開始したとき、または増量したときにめまいや眠気がみられることがありますので、自動車の運転など、危険をともなう機械の操作はしないよう注意してください。
・この薬を貼ることにより皮膚症状があらわれることがあるので、貼る箇所を毎回変更してください。
・貼り替えの際は先に貼っている薬を除去したことを十分確認してください。
・薬がはがれた場合は、その時点で新しい薬に貼り替え、翌日からはいつもと同じ時間に貼り替えてください。
・この薬の正しい使い方を守らなかった場合、重大な副作用があらわれることがあるので、患者さん、介護者の方は、使い方について十分に理解できるまで医師または薬剤師から説明を受けてください。
・嘔吐あるいは下痢が続くことにより脱水症状があらわれることがあります。このような場合には、ただちに医師に連絡してください。
・体重が減った場合は、医師に連絡してください。

・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

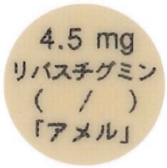
重大な副作用	主な自覚症状
狭心症 きょうしんしょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
徐脈 じょみゃく	めまい、立ちくらみ、息切れ、脈がとぶ、脈が遅くなる、気を失う
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
洞不全症候群 どうふぜんしょうこうぐん	めまい、気を失う、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる
ＱＴ延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
脳卒中 のうそっちゅう	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
痙攣発作 けいれんほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
食道破裂を伴う重度の嘔吐 しょくどうはれつをともなうじゅうどのおうと	もどす、嘔吐、吐き気、胸やけ、血を吐く、腹痛
胃潰瘍 いかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（鮮紅色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
十二指腸潰瘍 じゅうにしちょうかいよう	腹痛、上腹部不快感、胃がむかむかする、すっぱいものが上がってくる、げっぷが出る、食欲不振、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（茶褐色～黒褐色）、黒い便が出る
胃腸出血 いちょうしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）

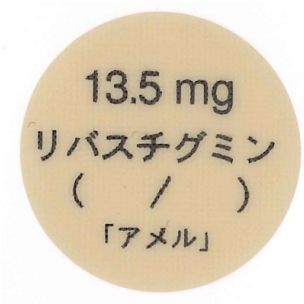
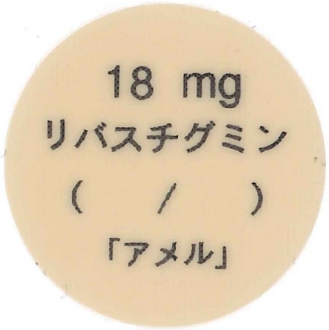
重大な副作用	主な自覚症状
肝炎 かんえん	体がだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのように感じる
激越 げきえつ	感情が激しくたかぶった状態、落ち着きがない
せん妄 せんもう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
脱水 だっすい	喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れやすい、体に力が入らない、手足がつる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、顔や手足の筋肉がぴくつく、体がだるい、発熱、体がかゆくなる、体重が減る、疲れやすい、体に力が入らない
頭部	めまい、突然のめまい、意識の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、気を失う、立ちくらみ、一時的にボーっとする、短時間、意識を失い倒れる、実際には存在しないものを存在するかのように感じる、突然の頭痛、意識を失って深く眠りこむ、感情が激しくたかぶった状態、落ち着きがない、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、幻覚
顔面	あごの痛み
眼	白目が黄色くなる
口や喉	もどす、嘔吐、吐き気、吐いた物に血が混じる（鮮紅色または赤色～茶褐色または黒褐色、茶褐色～黒褐色）、げっぷが出る、喉が渇く、血を吐く、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	胸を強く押さえつけられた感じ、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、息切れ、胸やけ、すっぱいものが上がってくる、動悸
腹部	腹痛、上腹部不快感、胃がむかむかする、食欲不振、上腹部痛
手・足	突然片側の手足が動かしにくくなる、左腕の痛み、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足がつる
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	黒い便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	リバスチグミンテープ 4.5mg 「アメル」	リバスチグミンテープ 9mg 「アメル」
テープ		
包装		
大きさ （約）	面積：2.5cm^2 質量：35mg	面積：5cm^2 質量：69mg
性状	無色半透明の膏体をベージュ色の支持体で支持し、膏体表面をライナーで被覆した丸型の貼付剤である。	

販売名	リバスチグミンテープ 13.5mg 「アメル」	リバスチグミンテープ 18mg 「アメル」
テープ		
包装		
大きさ (約)	面積：7.5cm^2 質量：104mg	面積：10cm^2 質量：139mg
性状	無色半透明の膏体をベージュ色の支持体で支持し、膏体表面をライナーで被覆した丸型の貼付剤である。	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リバスチグミン
添加物	スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、 脂環族飽和炭化水素樹脂、水素添加ロジングリセリンエステル、 ハイシスポリイソプレンゴム、その他２成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
・包装袋は貼る直前まで開けないでください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

・はがしたテープは、まだ薬の成分が残っているので接着面を内側にして半分に折りたたみ、必ず、子供の手や目の届かないところに廃棄してください。
・テープをはがした後は、石けんを使って手を洗ってください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝國製薬株式会社
販 売 会 社：共和薬品工業株式会社　（http://www.kyowayakuhin.co.jp/）
お問い合わせ窓口
フリーダイヤル：0120-041-189
受付時間：9 時～17 時 30 分
（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）